国際キャンプ連盟

International Camping Fellowship

ICf : 25TH year

目次

国際会議の開催　4ページ
国際キャンプ会議 2014（ICC 2014）
4ページ

メンバーシップ　5ページ

各国代表　6ページ
コミュニケーション　6ページ

プログラム　7ページ
国際キャンプ・ディレクター・コース
（I.C.D.Courses）　7ページ

事業拡大　8ページ

会計報告　9ページ

国際キャンプ連盟（以下、ICFとする）は、キャンプに関する興味関心、知識、お互いの経験を分かち合おうとする、野外活動のプロが集う、世界規模の団体です。

ICFは、それぞれが野外活動で培ったものを世界規模でつなげることによって、「世界に変化をもたらすことが出来る」と信じて活動しています。

ICFは、組織キャンプを通して、互いの国を理解し協力していこうとする全ての人の参加を歓迎します。

ICFの目標・目的

さまざまな国のキャンプや野外活動に関わる個人・団体の間でニュースや情報の交換が活発に行われるよう支援します。

二国間、あるいは多国間の交流を促進させます。

組織キャンプや野外活動体験を通して、国際的な相互理解や共生、リーダーシップ、環境保護活動の実現に向けて努力します。

国や各地域でのキャンプ協会設立を促進させます。

会長のごあいさつ

25周年を迎えたICFは、これまでたくさんの偉業を成し遂げてきました（記念すべき最初の国際会議は1987年にワシントンDCで開催されました）。

ここ数年にわたる先見的な改革により、新しい運営組織を設立し、会員数も大幅に増やすことができました。

香港での前回の国際会議や、これを機に立ち上がったさまざまな国や地域のワークショップと連携して、ICFは、「キャンプの交流を活性化し、包括的で心地よい場を提供してくれる団体である」と認知されるようになりました。

また、昨年5月のモンゴル国際子どもセンター「ナイランダル」で行われた若いキャンプリーダーのための革新的なワークショップに見られるように、 ICFは、専門的な知識を提供する役割も果たしています。調査研究プロジェクトは、国境を越えて行われています。「ICDC:インターナショナル・キャンプ・ディレクター・コース」は、さまざまな国に会場を移しながら定期的に実施されており、ここ最近では、メキシコ、マレーシア、オーストラリアで開催されました。

2012年の年次理事会は、ウクライナの「アルテック国際子どもセンター」にて開催されましたが、ウクライナキャンプ協会とアルテック国際子どもセンターの、教育やレクリエーションに関する高い専門性を知ることになりました。私たちは、たとえそれが特別な技術や研究ではなかったとしても、キャンプにおけるさまざまな取り組みやアイデアを分かち合うために、国境を越える架け橋を渡し続けていかなければなりません。

またその際に、2014年にトルコ・アンタルヤで開催予定の国際キャンプ会議（ICC）の会場を下見しました。そこではトルコキャンプ協会と、大会運営委員会を交えた会合も開かれ、これまで私たちが体験したことがないような、素晴らしい大会の計画が進んでいることが報告されました。
この次の四半世紀には、たくさんの可能性があります。世界中のキャンプが豊かなものとなるよう、みんなで力を合わせてやりとげましょう。

国際会議の概要

およそ3年に1回開催される、国際キャンプ会議（ICC）は、キャンプを通して国同士の理解を深めて世界中に仲間を増やすというICFの目標を実現するうえで、とても大きな役割を担っています。1987年のICF創設以来、アメリカで2回、カナダで2回、ロシア、日本、オーストラリア、メキシコ、そして香港でそれぞれ1回ずつ会議を開催してきました。2011年に香港で開催された国際キャンプ会議は、「キャンプ～豊かな人生への入り口～」というテーマを掲げ、香港キャンプ協会の多くのボランティアの活躍により、素晴らしい大会となりました。

2003年、オーストラリア・メルボルンで行われた第6回国際キャンプ会議で、ICFの姉妹組織としてアジア・オセアニア・キャンプ連盟（AOCF）が誕生しました。これをきっかけに、地域ごとの会議も活発に行われるようになりました。第5回アジア・オセアニア・キャンプ会議（AOCC）が、2013年にオーストラリア・シドニーで開催されます。ICFメンバーは、ぜひご参加ください。

“…お互いの違いも、共有できるものも大切にしよう…”

国際会議の開催にあたって、主催国の特徴や個性が十分に発揮されつつ、大会の一貫性が保たれるよう、組織委員会を支援します。国際キャンプ会議は、理事会、各国代表ミーティング、年次総会、スタディツアー、調査研究や顕彰など、ICFさまざまな事業のなかでも、とても重要な中心となるイベントです。大会には50カ国、500人以上の参加が見込まれます。

国際キャンプ会議2014　（10月23～27日）

ICC2014 Turkey

“Let’s camp for peace”

国際キャンプ会議2014“平和につながるキャンプを！”」を企画するにあたり、トルコキャンプ協会は、大会の組織委員会の先頭に立ち、Camp Future Starsと契約を交わしました。
この大会は、これまで築き上げてきた国際キャンプ会議を一層レベルアップさせる契機となるでしょう。
若い世代に多く参加してもらえるような会議にする
ビジネスにつながるようなキャンプを積極的に考えていく
大会そのものに新しいテクノロジーを集約していく

大会テーマ：
学会大会の事業化：マーケティング、融資、外部委託、協力機関の開拓
プログラムの革新と発展
人材開発：新しい人材の採用、トレーニング、評価、就労の機会の提供
キャンプや青少年教育に関する調査研究

その他の注目点：
インターナショナル・キャンプ・ディレクター・コース（ロシア語、英語、トルコ語による）
学術研究フォーラム
活発に更新される多言語のWebサイト

会員制度　～メンバーシップ～

2010年の将来計画策定をふまえて、ICF理事会は、現在の、あるいは今後加入する会員へのサービスの向上を目指して、会員制度の改変を行いました。
これに伴い、2011年10月に2つの主な会員カテゴリーが設けられました。新たに設けられた“アフィリエイト会員（準会員）”は、会費を払う必要がなく、電子メール等でICFから定期的に情報が受け取れます。それに対し、会費を支払う正会員（個人、キャンプ場、組織、協会のサブカテゴリーがある）は、受け取れるサービスが拡大しました。学会大会参加費の割引、会長選挙の選挙権と被選挙権、会員証の発行などです。加えて、“キャンプ場”“組織”“協会”会員は、ICFのWebサイトにリンクを貼ったり、ICFのロゴを利用したりできるうえ、アメリカキャンプ協会（ACA）およびアジア・オセアニア・キャンプ連盟（AOCF）のいくつかのサービスが受けられます。

各国のキャンプ協会との特別な連携

世界中で活躍するキャンプや青少年教育に関わる指導者同士のつながりが保てるよう、ICF理事会は、国や各地域のキャンプ協会と直接連携が取れるようなネットワークを構築する取り組みを始めました。
各国のキャンプ協会の代表者が、国際キャンプ会議のたびに集まって話し合い、各地の連携の輪を広げてきました。2012年には、アメリカキャンプ協会とオーストラリアキャンプ協会との間に「特別連携協定（Special Partnership agreement）」が結ばれました。そして2013年に、このような取り組みは、相互にとって有意義な関係作りの良き前例として、他の国々の協会組織にも広がっていくことでしょう。

ICF加盟国

オーストラリア
バングラディシュ
バミューダ
ボリビア
ボスニア･ヘルツェゴビナ
ブラジル
カナダ
中国
コロンビア
コスタリカ
クロアチア
キプロス
ドミニカ共和国
フランス
ジョージア
ドイツ
ガーナ
ギリシャ
香港SAC
ハンガリー
インド
インドネシア
アイルランド
イタリア
日本
ケニア
北朝鮮
リベリア
マレーシア
メキシコ
モンゴル
ミャンマー
ニュージーランド
ナイジェリア
パキスタン
パレスチナ
フィリピン
ポーランド
ルーマニア
ロシア
セルビア
シンガポール
南アフリカ
韓国
スペイン
スイス
台湾ROC（中華民国）
タイ
トルコ
イギリス
ウクライナ
アメリカ合衆国
ヴェネズエラ
ジンバブエ

アンバサダー　～各国の代表者～

アンバサダー （各国の代表者）制度は、ICF会員のボランティア参加と関わりを充実させるための、新しい組織運営のひとつです（10ページ参照）。アンバサダーの候補を推薦し、選出する方法は国によって違いますが、アンバサダーは、以下のような役割を担います。

自国のICF正会員を増やすこと
国内外の、会員間のつながりを強化すること。他のキャンプのキャンパーやキャンプスタッフとの交流プログラムなど。
自国のキャンプに関連するニュースや情報を定期的にICFに提供すること。
各国の組織キャンプや野外活動の現状について調査すること。
国際的なキャンプや、ICFの活動内容やサービスについての情報を普及させること。
国際キャンプ会議において、ICF総会の一員として業務をにあたること。
必要に応じて地域ごとの調整役をつとめること。
上記以外の業務についても、ICFの要請に応じて支援すること

上記以外の業務についても、ICFの要請に応じて支援すること

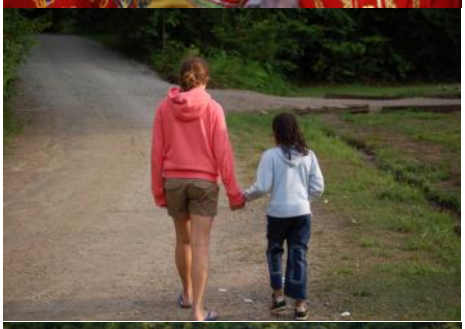
各国のアンバサダー
まだ代表者が選出されていない国は、推薦していただくようお願いします。

オーストラリア　John Woods氏
カナダ　Gabrielle Raill氏
コロンビア　Luis Enrique Garcia氏
イギリス/UK　Clive Clifford氏
ドイツ　Jan Vleth氏
香港　Sunny Ho氏
アイルランド　Terry Dignan氏
日本　高橋　伸氏
メキシコ　Genaro Ortiz Tirado氏
モンゴル　Ivan Jargalsaikhan氏
ロシア　Alexey Andreyev氏
セルビア　Marko Djordjevic氏
トルコ　Utku Toprakseven氏
ウクライナ　Oleksanr Kashlakov氏
アメリカ合衆国　Gywnn Powell氏
ヴェネズエラ　Gonzalo Veloz氏

コミュニケーション

ICFの情報交換をより良いものにするために、①メディア、政府機関、同じような目標をもっている団体などに、新たにICFの活動をについて知ってもらうこと、②現在の会員に、役立つ情報をしっかりと届けること、の2つが重要な戦略と考えています。
　現在、ICFのニュースレターは、世界中のボランティアのサポートを得てカナダ･ケベックで制作されており、さまざまな情報を提供するだけでなく、いくつかの言語に翻訳されて発行されています。

　またICFは、私たちが互いにつながっていることを実感できるように、世界中からの報告、プログラム・ワークショップ・カンファレンスについての情報などを届けるべく、Webサイトやソーシャルメディアを大幅に改善することに着手しました。その制作は、トルコ・イスタンブールの「Adaptice Creative Digital Agency」に委託しています。
　新しいWebサイト www.campingfellowship.orgには、ソーシャルメディア（フェイスブックなど）やニュースレターが統合され、すべての情報にアクセスすることができます。
また、会員は、このWebサイト上で、情報発信をすることも可能です。公式の手続きをふまなくても、自身のキャンプの報告や写真などを載せたり、さまざまな情報を添付することができます。



プログラム委員会

プログラム委員会は、4つの主なプログラムを企画･運営しています。

ICDC – インターナショナル・キャンプ・ディレクター・コース

　このプロジェクトの創立者でICF創立メンバーでもあるArmand Ball氏（カナダ・ケベック）から引き継いで以来、ICFはこのプログラムが世界中の会員にとって有益で、順応性や継続性のあるものとなるよう、試行錯誤してきました。詳細な報告については下記を参照してください。

アワード（表彰）

　ICFでは、私たちが設立した、３つの賞：「ICF Letter of Merit」、「Butterfly Award」、「Druzhba Award」への候補者の推薦を、随時受け付けています。加えて、ICFは、キャンプ場や団体がその成長過程で特別な功績をあげた場合や、記念すべき節目を迎えた場合に、それを評価・承認する証明書を発行しています。

調査研究

　ICFは、キャンプに関する学会大会の企画者が、有意義な調査研究フォーラムを準備できるよう支援しています。今年は、調査研究のための常設の委員会を設置し、キャンプ活動を活性化させる調査研究が進められるよう、継続的なネットワークサポートを提供しています。

特別なプログラム・ワークショップ

ICFは、各地のキャンプ協会が実施するプログラムや、地域に根ざした草の根的な活動への支援も行っています。今年5月には、マレーシアで は“未来を担う世界のリーダーシップトレーニング”、中国では“Little Angels Action Fund”、そして日本では、“日本キャンプ協会主催ワークショップ”に協力しました。また、毎年企画されるアメリカキャンプ協会の年次大会の際に行われるICFプレ・カンファレンス・ツアーは、代表的な活動です。

インターナショナル・キャンプ・ディレクター・コース

ICDCのトレーナーガイドやパワーポイントなどの資料は、いくつかの点で変更が加えられました：新しいロゴマーク、このコースに関するICFの商標権（著作権）の明確化、および講習会のホストを務める団体の責任、などについてです。また、コースの内容については、トレーニング方法や講習計画に関する改善が進められています。現在登録されているICDCトレーナーは、10カ国30名です。

○最近実施されたコース（「国際キャンプ会議2011 香港」以降）

ICDC オーストラリア　2012年9月

参加者：28名（オーストラリア国内26名、ニュージーランド2名）

指導者：Paul Colagiuri氏、John Woods氏、Maree Feutrill氏、Matt Bowker氏、Rebecca Fox氏（すべてオーストラリア）

ICDC マレーシア　2012年9月

参加者：14名（マレーシア、ミャンマー、シンガポール、フィリピン）

指導者：Hank K. Yap氏（マレーシア）、Andrew McGuckian氏（オーストラリア）、Tennent Kiu氏（シンガポール）

協力：Hank yap氏、Outbac Broga（施設）

このコースでは、より多くの言語への翻訳の必要性や、国の組織との協力、今後の主催国の企画運営策について、議論が交わされました。

ICDC メキシコ　2012年11月

参加者26名（メキシコ、ヴェネズエラ、コロンビア）

指導者と発表者：Simon Sambrano氏（ヴェネズエラ）、Juan Mario Gutierrez氏（コロンビア）、Tomas Lopaz Victoria氏（メキシコ）、Giuliana Paulova Del Castillo D氏（メキシコ）

今後のICDCおよび指導者養成コース開催予定

第5回アジア･オセアニア・キャンプ会議（ 2013年10月シドニー・オーストラリア）（AOCCおよびACAとの共催）

第9回国際キャンプ会議（2014年10月・トルコ）

事業としての発展

ICF理事会は、「専門家としての意識」を高めるために、以下のような発展計画を進めています。
新しいロゴマーク・ブランドイメージ
新しいWebサイトやソーシャルメディアの作成
その活動が成功している他の組織と同じ水準を目指す運営
表彰と奨学金

ICFは現在、Webサイトやソーシャルメディアによる情報交換に力を入れています。私たちは、世界中の地域の幅広い情報を集め、「野外活動で培ったものを世界規模でつなげる」ために、インターネットが重要な鍵となると考えています。

また、“コミュニケーション”と言っても、組織内の会員向けのものと外部に向けたものとは大きく違うものであると考え、2012年のミーティングの際に、私たちのコミュニケーションをより強靭なものにする新しい計画を打ち出しました。現在、必要とする情報に容易にたどり着けるようなコミュニケーション・サイト・マップを作成するプロジェクトにとりかかっています。

ICFの新しいWebサイトは、最適化された検索機能を備え、ソーシャルメディアと完全に統合されます。また、同じWebデザイナーによって創られたニュースレターがEメールで届きます。これら2つが適切に運用されることで、私たちの考える新しいコミュニケーションプランは完成します。

2014年にはトルコで国際キャンプ会議が開かれます。それは、ICFが目指すように、人々とアイデアが集まり融合する場所となるでしょう。トルコと他の多くの国々を結びつけ、より良いキャンプの世界を創りあげていくために皆で力を合わせることができると期待しています。

财務状况

Balance Sheet
January - December 2012

ASSETS	
Current Assets	
Chequing/Savings	
BMO-CDN ACCOUNT	17,513.14
BMO-US ACCOUNT	53,446.63
Total Chequing/Savings	70,959.77
Total Current Assets	70,959.77
Other Assets	
2013 Pre-Paid Expenses	600.00
Exchange Rate	14.02
Total Other Assets	614.02
TOTAL ASSETS	**71,573.79**
LIABILITIES & EQUITY	
Liabilities	
Current Liabilities	
Other Current Liabilities	
Deferred Membership Revenue	
2013	5,920.53
2014	4,675.53
2015	232.68
Total Deferred Membership Revenue	10,828.74
Total Other Current Liabilities	10,828.74
Total Current Liabilities	10,828.74
Long Term Liabilities	
Bill Bowker Scholarship	20,909.87
Druzhba Fund	1,344.60
Total Long Term Liabilities	22,254.47
Total Liabilities	33,083.21
Equity	
Opening Balance Equity	42,914.26
Net Income	(4,423.68)
Total Equity	38,490.58
TOTAL LIABILITIES & EQUITY	**71,573.79**

Operating Statement
January - December 2012

Income	
CDN Account-Interest Earned	1.36
Foreign Currency Exchange	14.02
Membership Fees	4,442.86
Total Income	4,458.24
Expense	
Administration	
Bank Charges	409.05
Software	135.60
Total Administration	544.65
Board Operating	
Board Meetings	2,480.19
Board Operating - Other	612.96
Total Board Operating	3,093.15
Communications	
Website	635.16
Total Communications	635.16
ICDC	
ICDC Faculty Travel	1,515.00
ICDC - Other	1,913.29
Total ICDC	3,428.29
International Hosting	
ICF Tours--ACA Conference	596.71
Total International Hosting	596.71
Marketing	323.76
Postage and Delivery	260.20
Total Expense	8,881.92
Net Income/Loss	**(4,423.68)**

ICF 国際キャンプ連盟の運営組織

会長
Valery Kostin氏
全権責任者
理事会、総会での議長
MAPEや年次会議などの議長
実行委員会の議長
諮問委員会メンバーと連絡を取り合う

前会長
Jenny Bowker氏
スムーズな引き継ぎの調整をする
必要に応じて会長および理事会へ助言する
新しい会長への交代後1年間、その業務を支援する
すべての実行委員会および理事会に出席する
オブザーバー参加のため、議決権を持たない

次期会長
2013年　投票により選出される
現会長の任期の、最終年に選挙を実施する
すべての実行委員会および理事会に出席する
オブザーバー参加のため、議決にあたっては投票権を持たない

副会長
田中 祥子氏
理事の中から、指名あるいは選挙で選ばれる補佐役
実行委員会メンバー
会長が業務を執行できない時、その任を引き受ける

事務局長
John Jorgenson氏
すべての会議の議事録を作成し、通知する
本部に集まる業務を行う
実行委員会メンバー
会員のための年次報告書を作成する

会計担当 委員
Jill Dundas氏
財務全般を担当する
年次会計報告書を作成する
実行委員会メンバー
必要に応じて委員会に財政面の助言をする。

広報担当 委員
Carole Cheley氏
Webサイト担当：Alina Ackenbom氏
E-ニュースレター担当：Jacqui Raill氏
ソーシャルメディア担当：未定
メディアキット担当：未定
すべての文書を出版・公開する前に査読する

一般 委員
Anton Denisov氏
理事会において、地域のバランスや文化的に釣り合いのとれた展望について報告する
各委員を取りまとめ、サポートする
特別なタスクやプロジェクトに従事する

開発担当 委員
Fahrettin Gozed氏
ICFを野外教育分野のブランドとして確立する
戦略的な協力関係の交渉をする
企業スポンサーを見つける
企業スポンサーを見つける

一般 委員
師岡 文男氏
理事会において、地域のバランスや文化的に釣り合いのとれた展望について報告する
各委員を取りまとめ、サポートする
特別なタスクやプロジェクトに従事する

アンバサダー担当 委員（各国代表の幹事）
Jeff Bradshaw氏
総会を企画・運営する
MAPEミーティングを企画･運営する
アンバサダーに、必要な助力と交流の機会を提供する
各国・地域のキャンプ協会同士の連携を支援する

プログラム担当 委員
Don Cheley氏
ICDC担当：Connie Coutellier氏
アワード：
調査研究委員会：Deb Bialeschki
ICF ワークショップ：

一般 委員
Tulshig Tuvshin氏
理事会において、地域のバランスや文化的に釣り合いのとれた展望について報告する
各委員を取りまとめ、サポートする
特別なタスクやプロジェクトに従事する

会員管理 委員
Linda Pulliam氏
会員登録の受付・管理
会員サービスを提供する
会員への連絡を行う

一般委員
Alexia Sideri氏
理事会において、地域のバランスや文化的に釣り合いのとれた展望について報告する
各委員を取りまとめ、サポートする
特別なタスクやプロジェクトに従事する

国際キャンプ会議の監督
Bill Oakley氏
国際キャンプ会議の次期開催国を調整する
国際キャンプ会議に関する情報の引き継ぎをする
他のイベントとの連携を強化する

顧問
元理事および元運営委員が就任する
☆名誉会員
Dick Chamberlain氏
Armand Ball氏
Jack Pearse氏
田中　祥子氏
前会長
Jenny Bowker氏
実行委員会をサポートする

内部の協力者
ICFの分科会や下部組織（AOCFアジア･オセアニアキャンプ連盟など）
実行委員会を直接サポートする

総会
アンバサダーと理事会によって運営される
さまざまなプロジェクトや目標達成のために、理事会に助言する
一般委員3名を選出し、理事会に推薦する
アンバサダー担当委員が組織し、会長が議長を務める

外部の協力者
ICFに加盟していないが、同じ考えで活動している他の国際的なキャンプの組織団体
実行委員会を直接サポートする

各国キャンプ協会同士のネットワーク
各国キャンプ協会の会長
各国キャンプ協会の職員
MAPE：学会大会時に、あるいは必要に応じて会議を行う

アンバサダー（各国の代表者）制度
ICFメンバーのいる国は、ICFとスムーズに連絡を取り合うための窓口となる代表者1名を推薦・選出する。アンバサダーは代表として定例会議に参加する。

詳しくはICFホームページを参照。

www.campingfellowship.org.

1988年、カナダの”キャンプタウィンゴ”でICF設立について話し合っているArmand Ball氏、Terry Lucas氏、DickvChamberlain氏、そしてJack Pearse氏。

「国際キャンプ会議2008 inケベック」のプレイベント「カナダのキャンプをめぐるツアー」に参加した、ギリシャ、オーストラリア、トルコからの参加者。

田中祥子氏は、ICFの設立以来、25年にわたり全ての活動へ協力してきました。その献身的な尽力が認められ、理事会の名誉会員となりました。

Don MacDowall氏（国際キャンプ会議2003メルボルン代表）から Genaro Ortiz Tirado氏 （国際キャンプ会議2005 メキシコ代表）へ、会議のシンボルである“クリスタルの蝶々”が引き継がれました。それを仲介するMantha Christou氏。

ボランティアこそがICFの成功の要。この写真のICC2008のボランティア達もそうですし、さまざまな情報を翻訳してくれているギリシャの学生たちもまた大切なボランティアです。

アジア・オセアニア・キャンプ会議2009年in台湾の際、台湾北部に先住する子どもたちのための学校を訪れ、伝統の踊りを披露してくれた子どもたちとポーズをとるJohn Jorgenson氏。

ICFの活動をもっと知りたい時はWebサイトをご覧下さい
www.campingfellowship.org.

ICf : 25TH year

www.campingfellowship.org